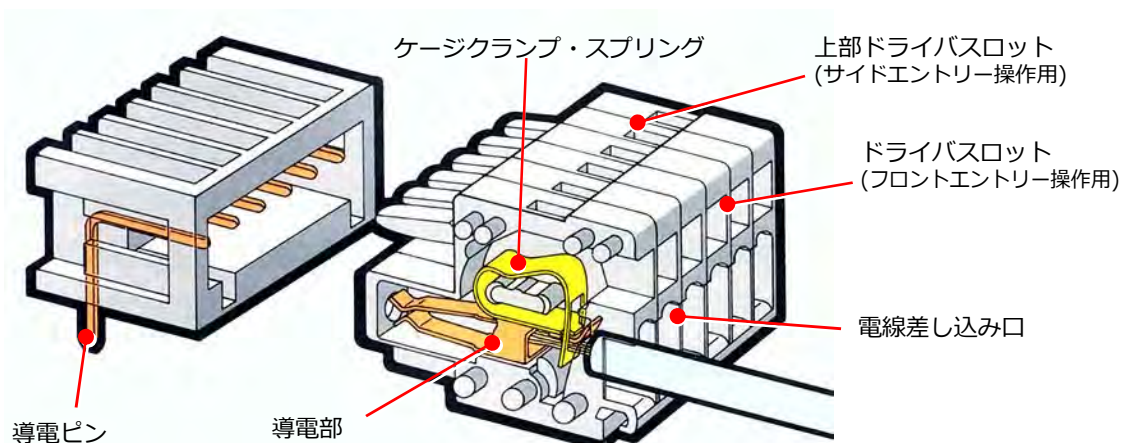


結線作業説明書

ケージランプコネクタ MCS MICRO 733シリーズ(2.5ミリピッチ)
MCS MINI 734シリーズ(3.5/3.81ミリピッチ)

■構造 コネクタの構造及び各部の名称を下図に示す。



■使用工具

①必ず正しい工具をご使用ください

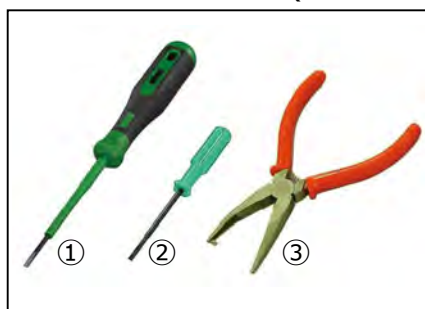
●指操作用レバー

733 専用…型番：733-130

734 専用…型番：734-230



●専用工具(733/734 共用)



①ドライバ(標準)

型番：210-719

②ドライバ(ミニ)

型番：210-119SB

③専用ペンチ

型番：210-250 J 2

●操作工具(733 専用)

型番：233-332



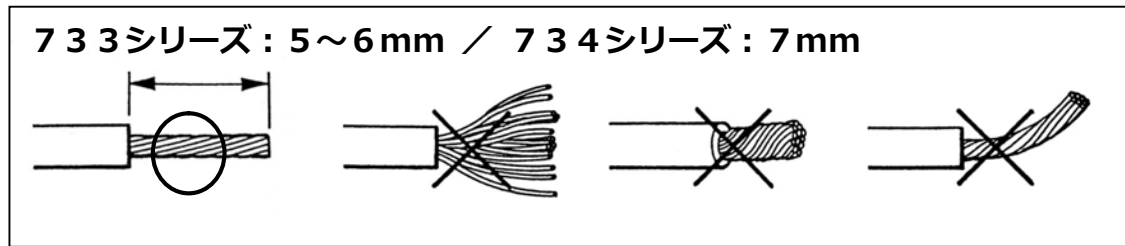
●ワイヤストリッパ (推奨)



ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用ください。

型番：206-1125

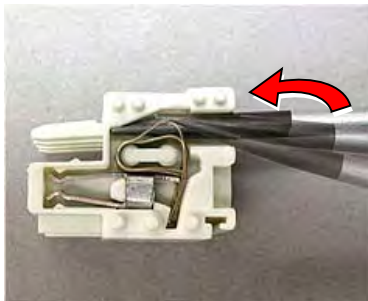
■電線のむき出し ○必ず規定のむき長さを守ってむき出してください。



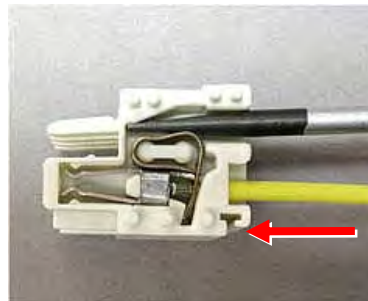
■結線作業 ○下図に従って作業してください。

※原則として1つのクランピングユニットには1本の電線を接続してください。
(JIS 9960-1(IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による。)

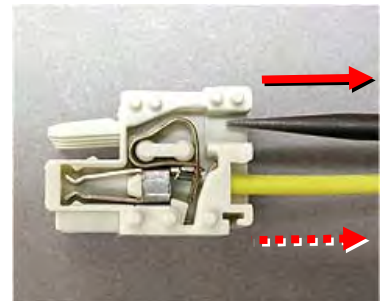
●ドライバを使用する場合<フロントエントリー> (734シリーズのみ)



①ドライバを操作用スロット(角穴)に差し込みます。正しく差し込めばドライバは保持されます。

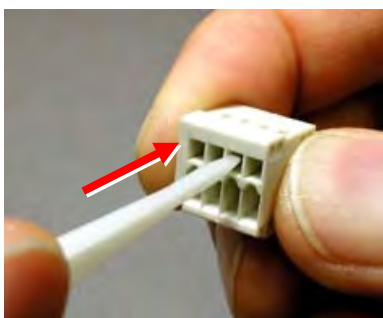


②正しくむき出した電線を電線口から突き当たるまで差し込みます。

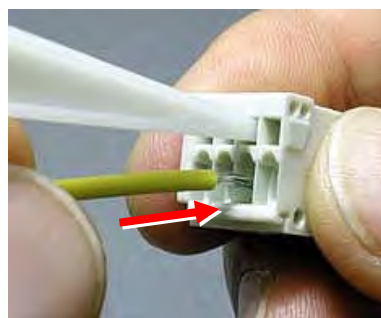


③ドライバを抜けば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

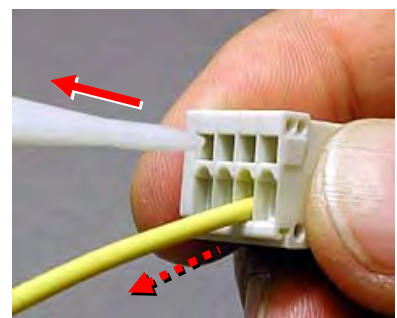
●操作工具を使用する場合。(733シリーズのみ)



①専用工具を上部の操作用スロットに入れ、スプリングを開きます。



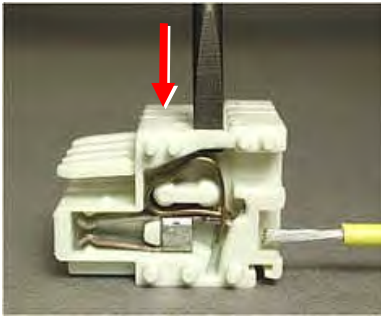
②正しくむき出した電線を電線挿入口から突き当たるまで差し込みます。



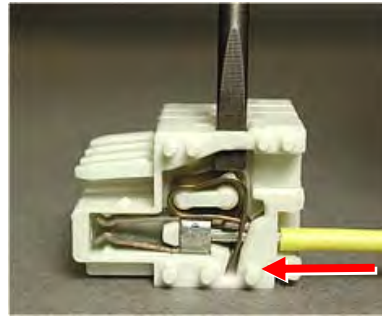
③専用工具を抜けば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

■離線作業：結線作業と同様の方法でスプリングを開放すれば、電線を取り外せます。

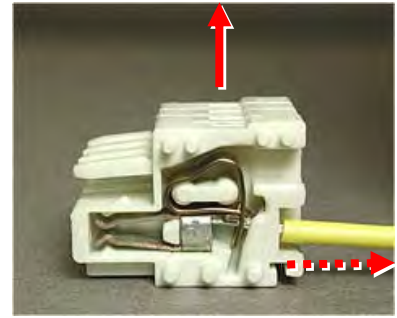
● ドライバを使用する場合。 <サイドエントリー> (733・734 シリーズ共通)



① 専用工具ドライバを上部の操作作用スロットに入れ、スプリングを押し下げます。

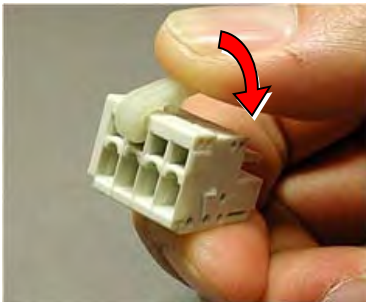


② 正しくむき出した電線を電線挿入口に突き当たるまで差し込みます。

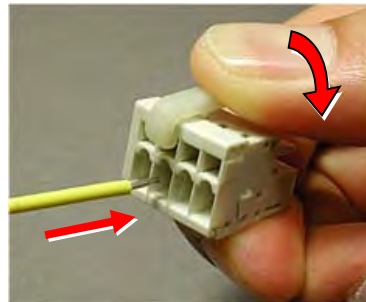


③ ドライバを放せば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

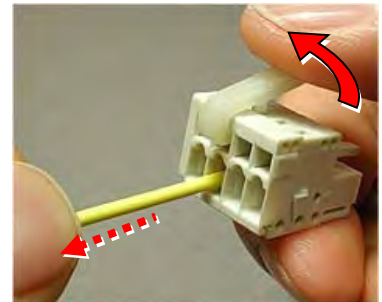
● 指操作作用レバーを使用する場合。(733・734 シリーズ共通)



① 上部の操作作用スロットに取り付けた指操作作用レバーを指で押しスプリングを押し下げます。

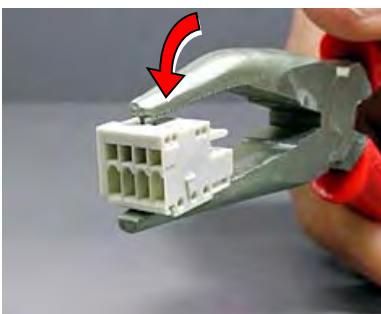


② 操作レバーを押ししたまま、電線を挿入口から突き当たるまで差し込みます。

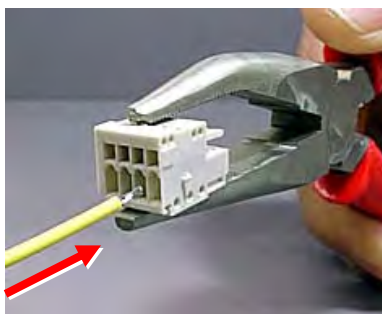


③ 操作レバーを放せば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

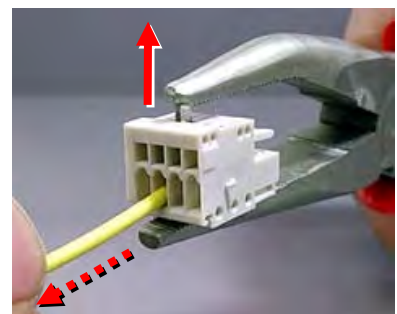
● 専用工具(ペンチ)を使用する場合。(733・734 シリーズ共通)



① 専用工具(ペンチ)の突起部を上部の操作作用スロットに入れ、スプリングを押し下げます。



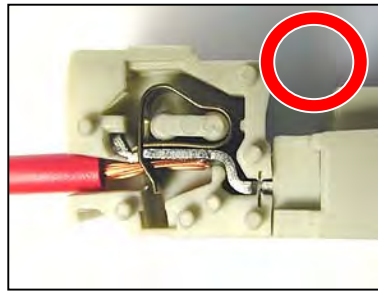
② 正しくむき出した電線を電線挿入口に突き当たるまで差し込みます。



③ 工具を放せば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

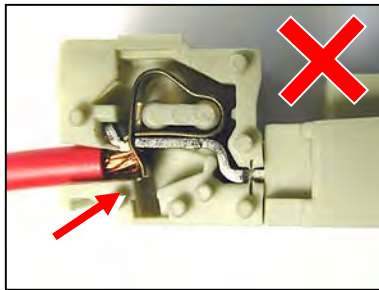
■ 離線作業：結線作業と同様の方法でスプリングを開放すれば、電線を取り外せます。

■ 結線作業時の注意事項

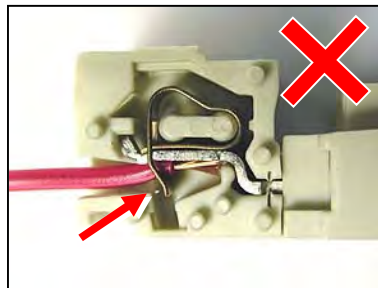


正しく結線された例

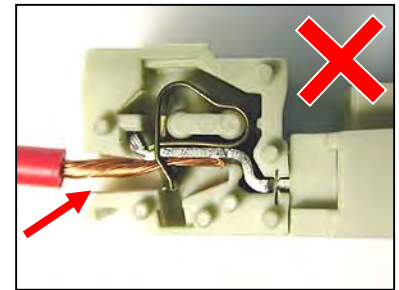
1. 電線のむき長さは、必ず守ってください。



むき長さが短く、電線が正しくクランプされなかった場合。通電不良、発熱の恐れがあります。

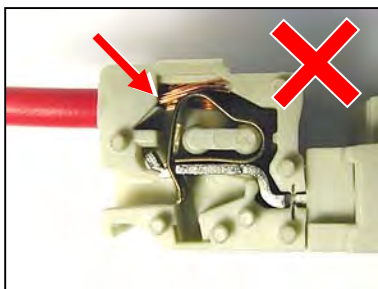


むき長さが短く、電線の被覆をかんでしまった場合。通電不良、発熱の恐れがあります。

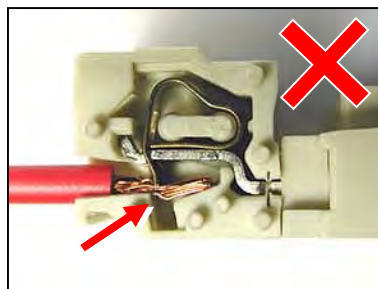


むき長さが長く、電線が露出してしまった場合。絶縁不良、ショートの原因となります。

2. スプリングとハウジングのすき間には絶対に電線を差し込まないでください。

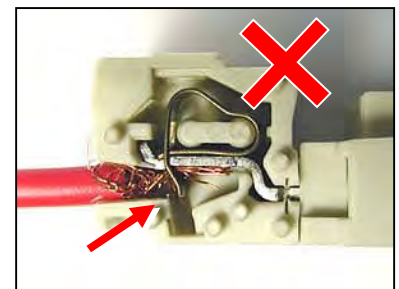


あやまってドライバスロットに電線を差し込んだ場合。導電部に接触しないので、通電不良、発熱の恐れがあります。



あやまってスプリングの下に電線を差し込んだ場合。導電部に接触しないので、通電不良、発熱の恐れがあります。

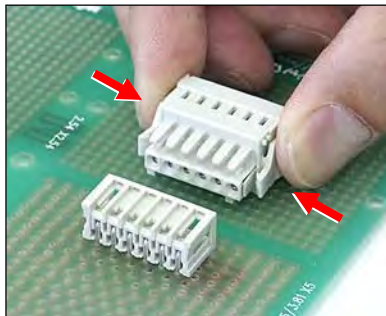
3. 電線のバラケに注意してください。



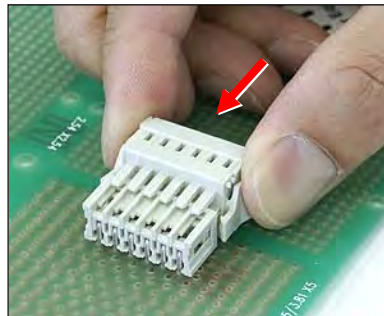
挿入時に電線がバラケてしまった場合。絶縁不良、発熱の恐れがあります。

■コネクタの取り付け

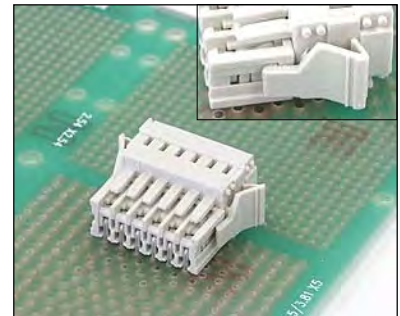
● ロッキングデバイス付フィメールコネクタのメールヘッダへの取り付け



① ロッキングデバイスを両側からつまみ、ツメを開きます。



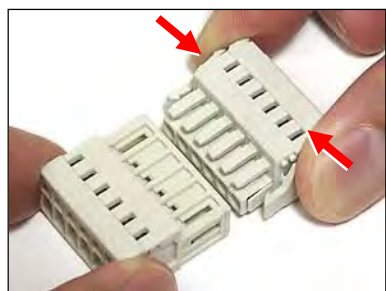
② メールヘッダにまっすぐ奥まで差し込みます。



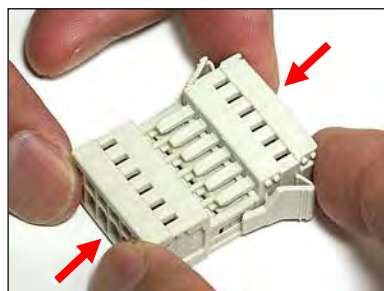
③ ロッキングデバイスのツメが両側共ヘッダの溝にかかっていることを確認してください。

※取り外し：ロッキングデバイスを両側からつまみ、ツメを開いてまっすぐに引抜きます。

● ロッキングデバイス付フィメールコネクタの取り付け

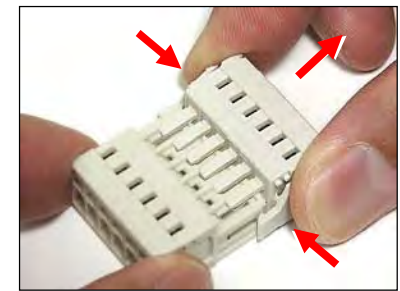


① ロッキングデバイスを両側からつまみ、ツメを開きます。



② コネクタヘッダにまっすぐ奥まで差し込み、両側から押し込んで嵌め込みます。

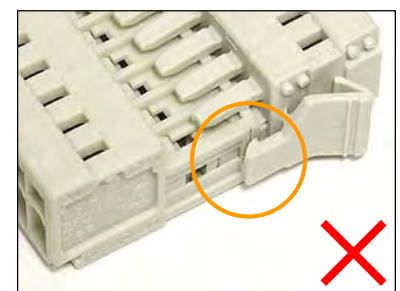
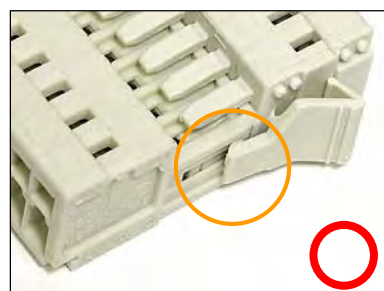
取り外し



ロッキングデバイスを両側からつまみ、ツメを開いてまっすぐに引抜きます。

※嵌合時の注意

ロッキングデバイス付
ロッキングデバイスのツメが
両側ともメールコネクタの溝
にかかっていることを確認し
てください。



ロッキングデバイスなし
フィメールコネクタとメール
コネクタの間にすき間がない
ことを確認してください。

